

美術科学習指導案

科 目	授業学級	授業場所	使用教科書等	授業者
美術専門・素描	1年8組（美術科）34名 （男子8名，女子26名）	素描室（本時は デザイン造形室）	高校生の美術1	餅原宣久

1 題 材 名 「何をどう見てどう描くか・・・!」（素描）

2 題 材 観

美術を専門に学ぶ生徒たちにとって、その基礎的な力を身につけるために「素描」の修練は不可欠である。しかし形体や空間を正確にとらえ、それを表現に生かしていくための技術や知識は一朝一夕に身につけることはできない。入学から半年が経過した生徒たちは、その目的を理解し始めたことで、自分たちにはまだまだたくさんの課題があるのだということにも気づき始めている。

初級者が「素描」の作品制作をする場合、手順として調子や質感の表現について考えていく前に、まずは正確な形を捉える必要がある。しかし漫然と観察するだけでは十分に正確な形を捉えることにはいたらず、このことが最初のつまずきとなる場合も多い。実際に見て理解しているはずだと思っっている形を素描作品として再現できないというジレンマが大きな挫折感につながることもある。そのため、学習においては、「形」に課題をしぼって学習活動を行う必要性がある。段階的に「形」をとらえるための見方や描き方について整理し、どのように表現すれば良いかについて落ち着いてよく考え、話し合う学習活動を行い、その中で主体的に課題解決にあたる生徒たちの姿が見えてくることに期待したい。

3 題材の目標

- (1) 形を正確に描くための見方や描き方について明らかにしていく学習に、友人と協力して意欲的に取り組むことができる。（美術への関心・意欲・態度）
- (2) 自分たちの「素描」における課題やその解決方法について、話し合いの中で具体的に考えることができる。（発想や構想の能力）
- (3) 見方や描き方についての話し合いの中で考えたことを、身分の表現に生かすことができる。（創造的な技能）
- (4) 描いた作品を相互に鑑賞し、制作者の意図について読み取ることができる。（鑑賞の能力）

4 題材の評価規準

関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
<ul style="list-style-type: none"> ・ 「素描」を学習することの意義について理解し、積極的に授業に参加することができる。 ・ 友人と「素描」における課題意識を共有し、協力してそれを解決しようとするすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分たちの「素描」における課題を解決することにつながる見方や描き方について、話し合いの中で具体的に考え、協力してまとめることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 見方や描き方について考えたことを、表現に生かすことができる。 ・ 「言葉」による情報からイメージを広げ、表現に生かすことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 描いた作品を相互に鑑賞し、制作者がその過程で考えたことについて想像することができる。 ・ 描いた作品を相互に鑑賞し、それぞれのよさを見つけることができる。

5 生徒観

「素描」に関するアンケート※9月19日実施 回答：男子8名、女子24名、計32名

①松陽高校に入学して半年が経ちました。あなたは美術科に入学してよかったですか？																	
1	87.5	81	2	0	12.5	3	12.5	6	4	0	0						
とてもよかった	79		よかった	17		どちらとも言えない	4		よくなかった	0							
②美術の専門の授業でいちばん好きな科目は何ですか？																	
1	25	25	2	37.5	41	3	12.5	9	4	25	25						
素描	25		絵画	42		ビジュアルデザイン	8		構成	25							
③「素描」に関してどのような気持ちをもっていますか																	
1	75	72	2	25	25	3	0	3									
楽しい	71		ふつう	25		楽しくない	4										
1	25	6	2	37.5	47	3	37.5	47									
上手くいっている	0		ふつう	50		上手くいっていない	50										
④「素描」の制作を進める上で、現在の自分にいちばん課題だと思える点は何ですか？																	
形	25	25	構図	25	10	調子	37.5	44	調子	0	0	空間感	0	7	描き込	0	13
	25			4		調子(明確)	46			0			8		み	17	
⑤その他、「素描」について思っていることがあれば自由に描いてください。																	
<ul style="list-style-type: none"> ・楽しくもあるが難しい。 ・最近、描き方がわからなくなった。 ・最初に構図をとる段階で焦ってしまう。 ・最初の形が上手くとれないまま進めてしまい、後でおっくうになる。 ・自分が上達しているのかわからない。 ・毎回、形がとれないが、焦らず頑張ろうと思う。 ・木炭の使い方にまだ慣れないせいか、調子がきれいでない。 ・全体が似たような調子になってしまう ・全体を見ることができず、バランスがとれない。 ・集中が長続きしない(1時間半程度) 																	

(左上：男子・左下：女子 右：計 数字は%)

アンケートの結果から、入学後半年経過した生徒たちは、概ね安定した状態で学校生活をおくっていることがうかがえる(入学してとてもよかった・よかった…30人/32人中)。今のところ絵画系の科目を好む生徒が多いが(素描・絵画が好き…21人/32人中)、これまでの経験や、専攻の選択が2学年から始まるカリキュラムの進捗の影響だと考えられる。「素描」の時間も楽しいと感じている生徒がほとんどである(素描が楽しい…23人/32人中)一方で、「素描」が上手くいっている生徒の割合は少なく(素描が上手くいっている…2人/32人中)、その内容としては、調子が上手く作れないこと(14人/32人中)と形がうまくとれないことをあげた生徒が多かった(8人/32人中)。このようなことから、素描に積極的に取り組んで成果を感じつつも、見方や描き方の理解度については具体性に欠ける面があり、そのことを不安に感じている生徒の姿がうかがえる。

6 指導観

本題材では、グループ活動を中心に学習活動を行い、「言葉」を中心に据えて自分たちの課題を明確にし、その解決方法について段階的に集約していくものとする。その際、生徒が積極的に話し合いに参加し、自分の言葉で意見を言うことができるよう配慮したい。また、生徒の意識としては「描いてしまえば明確になる」という意識になりがちなところを、あえて「言葉」にすることで見方や描き方についての要点をより明確にまとめ、今後の制作に生かすことができるようにしたい。(言語活動によるアクティブ・ラーニング)なお、指導に際しては、次の5点について生徒ができるように留意したい。

- (1) 形を正確に描くにはどのような見方や描き方を心がけることが必要か、友人と協力して段階的に学習することができる。
- (2) 見方や描き方についての話し合いの中で、自分の考えを述べることができる。
- (3) 見方や描き方についての話し合いの中で、他の意見を尊重することができる。
- (4) 見方や描き方について話し合いをしながら、協力して制作を進めることができる。
- (5) 見方や描き方について、協力して考えをまとめることができる。

7 題材の指導計画 (全4時間)

指導においては、次の「アドバイス」シートと「ポイント」シートの2種類のシートを活用して進める。

生徒は、各自制作しながら、形を正確に描くにはどのような見方や描き方を心がけることが必要かについて考え、その後、グループごとに課題や解決方法を話し合い、具体的な見方や描き方についてまとめていく。さらにそれを情報交換しながら、見方や描き方を明確にするという流れを通して、主体的に協力しながら段階的に学習を進めていくようにする。

【指導に使用するシート】

形を正確に描くための「アドバイス」
*「アドバイス」…与えられたモチーフの形を正確に捉えるために必要な見方や描き方についての具体的事項(着眼点に沿って考える)

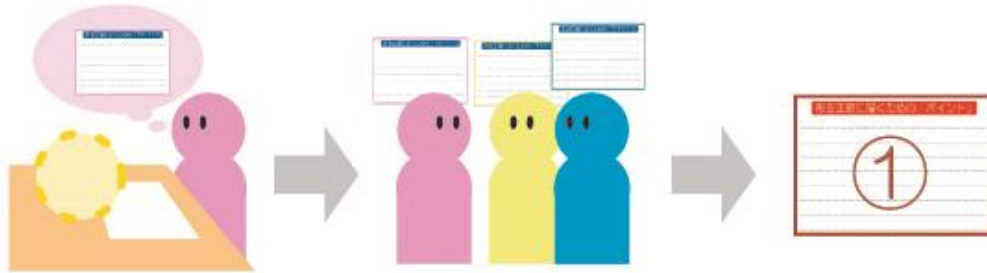
「アドバイス」シート(モチーフごとにまとめる。)

形を正確に描くための「ポイント」
*「ポイント」…形を正確に捉えるために必要な見方や描き方についての着眼点(具体的事項を整理する)

「ポイント」シート(今回の題材では①～③がある。)

(1) 第1次・・・「見て描いて話し合う」(1h)

「見て描いて話し合う」



学習過程	生徒の学習活動	指導上の留意点(※)と評価方法(◇)
導入 (5分)	1 「見て描いて話し合う」 (1) 形を正確に描くにはどのような見方や描き方を心がけることが必要かについてまとめるために、協力して段階的に学習することを理解する。	○ アンケートの結果をもとに、「素描」の学習についての現状について知らせる。 ○ 題材の指導計画について説明する。 ※ 題材の目標について十分理解させる。
展開1 (10分)	2 モチーフを見て描く (1) モチーフの形を正確に描くことを目標に描く。 (2) 描きながら、どのような見方や描き方に気をつけて制作したかを「アドバイス」シートにメモする。	○ 全員が同じモチーフを描く。 ○ 各人に「アドバイス」シートを配布し、メモさせる。 ○ 気が付いた点と同時に、疑問点もメモさせる。 ◇ 関心・意欲・態度
展開2 (15分)	3 描いてみて、気がついたことについてグループで話し合う。 (1) お互いの作品を見ながら、メモをとったことについて出し合って話し合う。 (2) 形を正確に描くにはどのような見方や描き方をすればよいか、「アドバイス」シートの要点を「ポイント」にまとめる。 (「ポイント」シート①)	○ 5～6人の6グループで話し合わせる。 ○ グループに「ポイント」シートを配布する。 ※ 「アドバイス」と「ポイント」の違いについて説明する。 ○ 各人の「アドバイス」シートや作品から話し合いを行わせ、「ポイント」シートをまとめさせる。 ※ 各人の考えを尊重させる。 ◇ 関心・意欲・態度 ◇ 発想や構想の能力 ◇ 鑑賞の能力
展開3 (15分)	4 グループでまとめたことについて発表する。 (1) 各グループで話し合っまとめた「ポイント」について発表する。 (2) 他のグループの意見を聞いて、参考になった点を自分たちのグループのまとめに反映させる。 (「ポイント」シート①の完成)	○ 各グループでまとめた「ポイント」シートを掲示し、各代表に発表させる。 ※ 他のグループの発表の中に、自分たちの気が付かなかった良い点を見つけるよう指導する。 ◇ 関心・意欲・態度 ◇ 創造的な技能
まとめ (5分)	5 まとめ (1) 各グループで本時の学習を振り返る。 6 次時の予告を聞く。	○ 本時の学習の価値を確かめさせる。 ※ 次時への意欲を喚起する。

(2) 第2次・・・「話し合ってから見て描く」(1h)

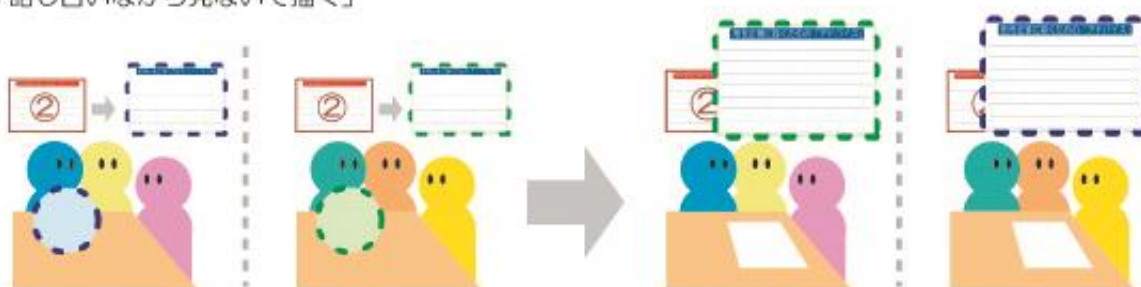
「話し合ってから見て描く」



学習過程	生徒の学習活動	指導上の留意点(※)と評価方法(◇)
導入 (5分)	1 「話し合ってから見て描く」 (1) 前時を振り返り、形を正確に描くための見方や描き方についての「ポイント」について確認する。	○ 前時に各グループでまとめた「ポイント」シート配布し、確認させる。 ※ 本時の目標について十分理解させる。
展開1 (10分)	2 グループでモチーフを見て話し合う。 (1) 与えられたモチーフの形を正確に描くにはどのようなモチーフをどのように見てとらえ、どのように描けば良いかよいか、前時にあげた「ポイント」シートに沿って話し合う。 (2) 「ポイント」シートに沿って話し合った内容を具体的な「アドバイス」シートとしてまとめる。	○ 各グループに「アドバイス」シートを配布する。 ○ 各グループに同じモチーフを配布する。 ○ 制作用の画用紙を配布する。 ※ 「ポイント」の項目ごとに「アドバイス」を挙げるよう指導する。 ◇ 関心・意欲・態度 ◇ 発想や構想の能力
展開2 (15分)	3 モチーフを見て描く。 (1) 話し合ってからまとめた「アドバイス」に留意しながら各人で描いてみる。 (2) 描きながら気がついたことについて話し合いながら、描く前にまとめた「アドバイス」や「ポイント」について確認する。	○ 制作用の画用紙を配布する。 ※ 意見交換しながら描くよう指導する。 ◇ 関心・意欲・態度 ◇ 発想や構想の能力 ◇ 創造的な技能
展開3 (15分)	4 グループで描いて気が付いたことについて発表する。 (1) 各班の制作状況について作品を添えて発表する。 (2) 各班の発表を聞き、形を正確に描くための見方や描き方についての「ポイント」についてグループで再検討してまとめる。 (「ポイント」シート②の完成)	○ 各グループで描いた作品とともにまとめた「アドバイス」「ポイント」シートを掲示し、各代表に発表させる。 ※ 他のグループの発表の中に、自分たちの気が付かなかった良い点を見つけるよう指導する。 ◇ 関心・意欲・態度 ◇ 創造的な技能 ○ 各グループに新たに「ポイント」シートを配布する。 ○ 各グループでまとめた「ポイント」シートを仮の完成形として確認させる。
まとめ (5分)	5 まとめ (1) 各グループで本時の学習を振り返る。 6 次時の予告を聞く。	○ 本時の学習の価値を確認させる。 ※ 次時への意欲を喚起する

(3) 第3次・・・「話し合いながら見ないで描く」(1h)

「話し合いながら見ないで描く」



学習過程	生徒の学習活動	指導上の留意点(※)と評価方法(◇)
導入 (5分)	<p>「話し合いながら見ないで描く」</p> <p>1 前時を振り返り，形を正確に描くための見方や描き方についての「ポイント」について確認する。</p> <p>2 二つのグループ(A・B)が組になり，お互いに協力してモチーフを見ずに描いてみることを理解する。</p>	<p>○ 前時に各グループでまとめた「ポイント」シートを配布し，確認させる。</p> <p>※ 本時の目標について十分理解させる。</p> <p>○ 6グループを2グループずつの3グループとし，2グループは協力して学習活動を進めることを理解させる。 (1-A・B, 2-A・B, 3-A・B)</p>
展開1 (20分)	<p>3 グループでモチーフを見て話し合う。</p> <p>(1) 与えられたモチーフの形を正確に描くにはモチーフをどのように見てとらえ，どのように描けば良いかよいかについて，「ポイント」に沿ってどのような「アドバイス」を片方のグループに与えれば良いか話し合う。</p> <p>(2) 話し合ったことについて「アドバイス」シートに書いてまとめる。</p>	<p>○ AとBの3つのグループずつを2部屋に分けて活動させる。</p> <p>○ AとBの2種類のモチーフを準備し，それぞれの3グループに与える。</p> <p>○ 各グループに「アドバイス」シートを配布する。</p> <p>※ それぞれペアになっているグループにわかりやすい言葉や数値で伝えられるよう「アドバイス」シートを作成するよう指導する。(図示は禁止する。)</p> <p>○ 「アドバイス」シートができたらモチーフを回収する。</p> <p>◇ 関心・意欲・態度 ◇ 発想や構想の能力</p>
展開2 (20分)	<p>4 片方のグループがまとめた「アドバイス」シートを見て，モチーフを見ずにグループで描く。</p> <p>(1) 片方のグループが話し合ってまとめたことからどのように「アドバイス」を汲み取れば良いか話し合う。</p> <p>(2) それぞれが「アドバイス」についての解釈をして描く。</p> <p>(3) それぞれが描いた作品を見ながら意見を出し合い，協力して1枚の作品を描く。</p> <p>(4) 描いた感想をまとめる。</p>	<p>○ 各グループに制作用の画用紙を配布する。</p> <p>○ 2部屋でそれぞれ「アドバイス」シートのみを頼りにモチーフを見ずに描かせる。</p> <p>※ 意見交換しながら描くよう指導する。</p> <p>※ 組になったグループの「アドバイス」を尊重しながら描くよう指導する。</p> <p>※ 描いた人の気持ちを尊重しながら1枚の作品にまとめさせる。</p> <p>◇ 関心・意欲・態度 ◇ 発想や構想の能力 ◇ 創造的な技能</p>
まとめ (5分)	<p>5 まとめ</p> <p>(1) 片方のグループがまとめた「アドバイス」に沿って描くことができたか確認する。</p> <p>6 次時の予告を聞く。</p>	<p>○ 本時の学習の価値を確認させる。</p> <p>○ 作品と「アドバイス」シートを回収する。</p> <p>○ 次時は一部屋に集まって学習することを伝える。</p> <p>※ 次時への意欲を喚起する</p>

(4) 第4次・・・「何をどう見てどう描くか」・・・本時(1h)

8 本時の実際

(1) 本時の目標及び評価の観点

- ア 自分の制作体験についてまとめ、具体的に発表することができる。
- イ 他の気持ちを推察しながら、積極的に発表を聞くことができる。
- ウ 制作体験やその検証作業について、友人と協力しながら積極的に話し合いを行うことができる。
- エ 素描の制作で形を正確にとるために必要な着眼点について言葉でまとめることができる。

(2) 指導上の留意事項

ア 事前指導

「4 題材の指導計画」で第1次～第3次について示した通り

イ 導入段階

- ・ 本時までの具体的な学習内容を段階的に振り返り、目標を明確に理解させる。

ウ 展開段階

- ・ 自分の意見をしっかりまとめることに留意させる。
- ・ 他者の意見を尊重する態度を大切にするよう指導する
- ・ グループで協力し、充実した話し合いを行わせる。
- ・ まとめにあたっては、適切な言葉について考えさせる。

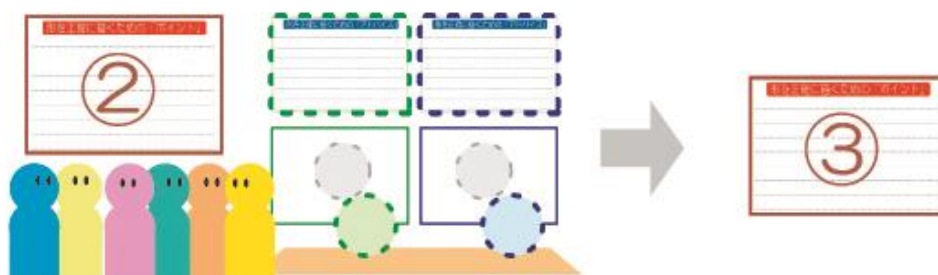
(3) 準備

- 教師：「アドバイス」シート、「ポイント」シート、油性ペン、モチーフ、石膏像
- 生徒：筆記用具、クロッキー帳

(4) 本時の展開

第4次・・・「何をどう見てどう描くかについて話し合う」・・・(1h)

「何をどう見てどう描くか」



学習過程	生徒の学習活動	指導上の留意点(※)と評価方法(◇)
導入 (5分)	<ol style="list-style-type: none"> 1 これまでの学習を振り返り「何をどう見てどう描くか」について話し合う。 2 前時を振り返り、二つのグループが組になり、お互いに協力してモチーフを見ずに描くことができたか確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 前時に描いた作品とペアになったグループから提供された「アドバイス」シート、「ポイント」シート②をA,Bのモチーフ別で掲示する。 ※ 第1次から第3次までの学習を具体的に想起させる ※ 本時の目標について十分理解させる。

<p>展開1 (10分)</p>	<p>3 「アドバイス」をもとにモチーフを見ずに描いた作品を各グループ毎に提示し、その感想について発表する。</p> <p>(1) 「アドバイス」をどのように理解して描いたか具体的に発表する。</p> <p>(2) 「アドバイス」と作品を比較しながら発表を聞く。</p> <p>(3) 同じモチーフのグループは、他のグループと自分たちを比較しながら発表を聞く。</p>	<p>※ 「アドバイス」に沿ってどのように描いたかを制作体験を踏まえて具体的に発表させる。</p> <p>◇ 関心・意欲・態度</p> <p>◇ 発想や構想の能力</p>
<p>展開2 15分)</p>	<p>4 モチーフと作品を比較して話し合い、その感想について話し合う。</p> <p>(1) 各グループで見ずに描いた作品とモチーフを比較する。</p> <p>(2) 与えられた「アドバイス」の過不足や、それについての理解の仕方について検証して話し合う。</p> <p>5 形を正確に描くにはどのような見方や描き方をすればよいか、これまであげてきた「ポイント」シート②について検証する。</p> <p>(1) これまでにあげた「ポイント」は適当なものであったか話し合う。</p>	<p>○ 課題としたモチーフを各グループに提示する。</p> <p>○ モチーフと「アドバイス」を比較して検証させる。</p> <p>○ モチーフと作品を比較して検証させる。</p> <p>※ 「アドバイス」の過不足よりその解釈に視点をおいて話し合わせる。</p> <p>◇ 関心・意欲・態度</p> <p>◇ 発想や構想の能力</p>
<p>展開3 (10分)</p>	<p>6 形を正確に描くにはどのような見方や描き方をすればよいか、各班で最終的な考えをまとめる。</p> <p>(1) 各グループで最終的に正確に描くための「ポイント」を改めて整理し、「ポイント」シート③にまとめて発表する。 (「ポイント」シート③の完成)</p>	<p>○ 各グループに「ポイント」シートを配布する。</p> <p>○ 各グループの最終的な「ポイント」シートの完成形を掲示しながら発表させる。</p> <p>※ 各グループが挙げた「ポイント」の共通項に着眼しながら発表を聞くように促す。</p> <p>◇ 関心・意欲・態度</p> <p>◇ 発想や構想の能力</p> <p>◇ 鑑賞の能力</p>
<p>まとめ (10分)</p>	<p>7 まとめ</p> <p>(1) 形を正確に描くにはどのような見方や描き方を心がけることが必要かについて、協力して学習できたかを確認する。</p> <p>8 次時の予告を聞く。</p>	<p>○ 本時の学習の価値を確かめさせる。</p> <p>○ 本題材で学習してきたことについて具体的に振り返えさせる。</p> <p>※ 今後の素描制作への意欲を喚起する。</p> <p>※ 今回、学習した内容をどのように「石膏デッサン」の制作にいかすことができるか、想起させる。</p>